

新年

つちのえいぬ
戌戌



進化のためには変える勇気を

あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、輝かしい希望に満ちた新年を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から町政に対しまして、温かいご理解と、ご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

今年の干支は「戌戌（つちのえいぬ）」この十干（じっかん）や十二支（じゅうにし）の文字はともに植物の成長段階を表しています。「戌」は草木が盛んに生い茂ること。「戌」は切るという意味で草木が枯れてしまふこと。どちらも「茂」がもとになつており、樹木が茂ると日光が当たらないので、いずれ植物が枯れてしまふ。だからこの時期に枝や葉を切らなければならぬ。「戌戌」はそのよ

うな変化がともなう年といわれています。

歴史を振り返ると、60年前の「戌戌」である昭和33年の最も大きな話題となったのは、皇太子と正田美智子様の御婚約であります。結婚式は翌年の4月に行われていたのですが「ミッチーブーム」で国中が湧いた年でもありました。注目は初めて民間から選ばれた皇太子妃だったという事です。

戦後復興を象徴する昭和39年の東京オリンピックに向け国立競技場が、また、東京タワーが完成した年でもあります。また、プロ野球では従来の選手像をうち破る、走攻守そろった長島茂雄が鮮烈にデビューした年でもあります。